【居心地の良い場所を探せ！プロジェクト】

わがまち川越！観光UD

・・・・探検隊活動報告・・・・

主　　催：彩の国　人にやさしい建物づくり連絡協議会・イベント部会

立　　案：埼玉県都市整備部建築安全課建築指導担当

企画構成：(社) 埼玉県建築士事務所協会　設計専門部　UD 委員会

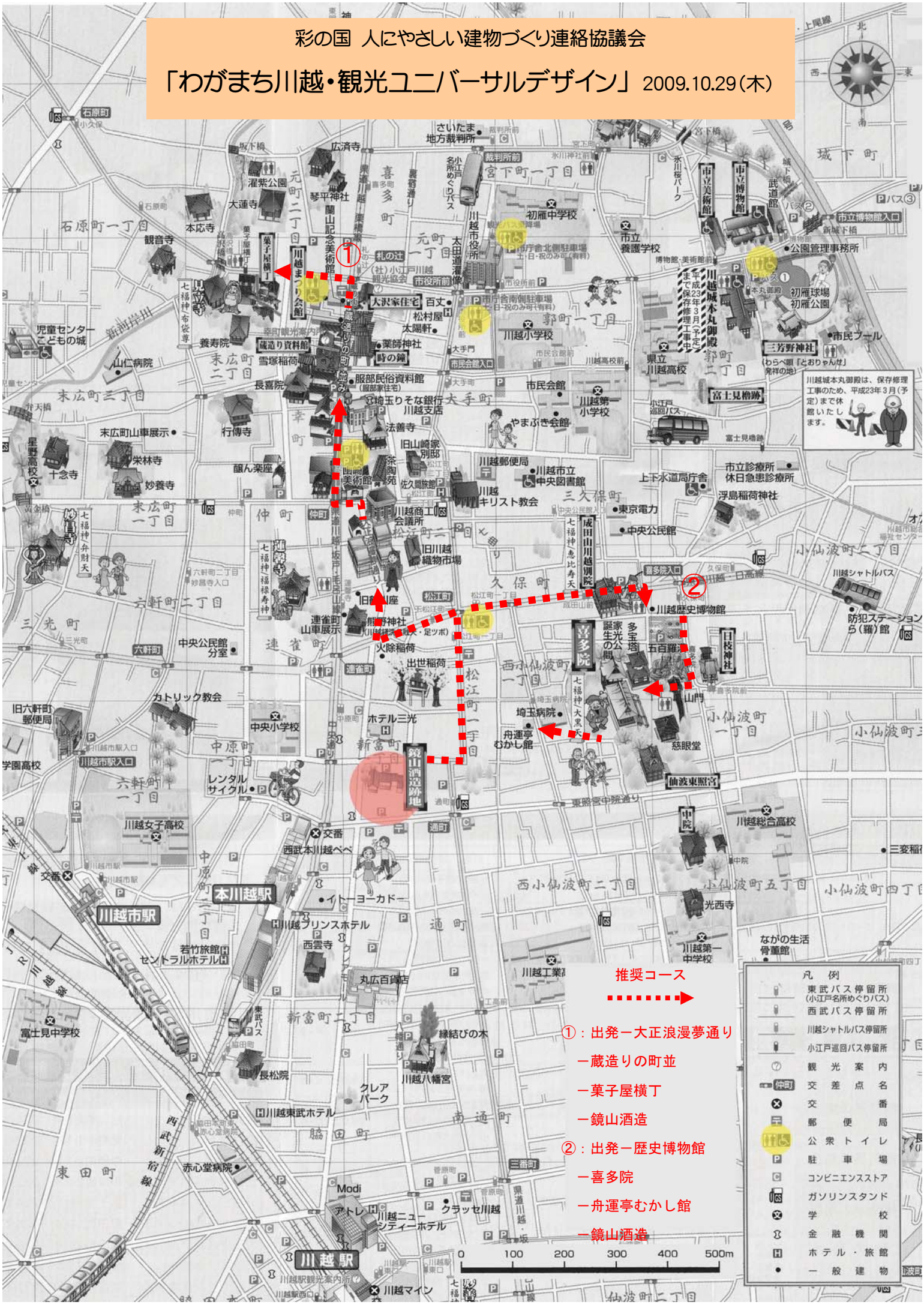
実施協力：東洋大学　高橋研究室、川越市中心市街地活性化推進室

(社) 埼玉県建築士事務所協会、　彩の国　バリアフリー協会、

NPO法人かわぐち防災ネット、ユニ＆バリ探求グループ他有志一同

彩の国　人にやさしい建物づくり連絡協議会

「わがまち川越・観光ユニバーサルデザイン」2009.10.29（木）



【わがまち川越・観光ユニバーサルデザイン】

水先案内人の活動報告

昨年に引き続き、**彩の国人にやさしい建物づくり連絡協議会・イベント部会**が主催します**【居心地の良い場所を探せ！プロジェクト】**に参加する人々が、秋晴れの１０月２９日に各方面から小江戸川越のまちに参集いたしました。

この催しは、毎年、様々な建物や町並み等を見学させて頂く研修プログラムであります。

題して**【わがまち川越・観光ユニバーサルデザイン】**

本年は景観に優れた観光のまち川越で、バリアフリーとユニバーサルデザインがどのように融合していくのかを興味深く探ることとなりました。

今回は、単にまちを見学するだけでなく、福祉のまちづくりの視点からも色々な立場の方々と一緒にまちを散策し、語り合い、災害時も考慮しながら、最後にはワークショップ型式で意見を交換収集し、まとめを提案する形をとります。

その目的は、見学散策する川越の良いとこを探しだすということであり、探し出した良いとこを皆で語り合い、どうしたらさらにまた訪れたい街になるかを確認しあうと言うことであります。

景観に優れた観光のまち川越で、バリアフリーとユニバーサルデザインがどのように融合していくのか？共に待ち歩きをしながら、新しい気づきを見つけ、普段と違った視点で検証報告を致します。

さてさて、どのような探検隊活動となったのでしょうか？

秋晴れの１０月２９日に各方面から小江戸川越のまちに参集いたしました。
会場は、鏡山酒造跡地大正イベントホール

これから一体何が始まるのだろう？参加する人は不安が一杯です！

まず、イベント部会長・熊谷市参事兼都市整備部開発指導課長：岸　新一郎様よりご挨拶を頂き、次に今回**【わがまち川越・観光ユニバーサルデザイン】**のアイデアを頂いた東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科・髙橋儀平教授よりご挨拶を頂き、川越街歩きに際しての留意点と今までの行われてきた、川越市でのまちづくりの取り組みの経緯を説明して頂きました。
近年，高齢の方や，障害のある方たちが外出しやすい社会環境へと変化が見られる中，観光のニーズも高まっていますが観光地のバリアフリー整備は進んでいるとは言えません．さらに観光地では，文化財保護法等により保護されている遺産があり，容易に整備ができないという課題があります。
さて川越の街並みは、そして歴史的建物は、一体どうなっているのでしょうか？

プログラム

まず、埼玉県都市整備部建築安全課建築指導担当の福田ゆうみ氏より、今回のイベントについて趣旨説明があり、全体のオリエンテーションがおこなわれました。

事務局より**【わがまち川越・観光ユニバーサルデザイン】**のプロジェクトテーマの説明と当日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ、及ﾀｲﾑｽｹｼﾞｭｰﾙの概要説明ｶが行われます。

当事者の方々と一緒に、疑似体験をしながら街歩きを行い、観光バリアフリーの実態や要望を取りまとめて提案していただきたい趣旨と、参加される皆様に川越市の観光実態や設備・情報・介助等の整備に対する考えをＷＳ型式で話し合い、楽しい街歩きの探検活動の中から観光バリアフリー推進のための提案づくりまでもっていければとの説明があります。

真剣に聞き入る参加者の皆様

良好と思えるところを様々な視点で考え、探し出し、川越の街歩きを楽しみながら行う**【わがまち川越・観光ユニバーサルデザイン】**です。

ご参加の皆様！本日、川越のまち散策を充分に楽しんでください！！

事務局より、班別概要とコース概要についての説明後、**車椅子の操作の仕方と注意点**について、**彩の国バリアフリー協会**の皆様に説明をいただきます。
車椅子当事者の栗林氏からは、トイレの問題、食事の問題、街歩きの危険性について詳しく説明をして頂きました。

大まかなコースだけ決めてあります。どこをどのように散策するかは皆さんの自由！
補助スタッフの水先案内人を携え、話し合いながら行き先を決め、散策しましょう！

ウーンどこをどのように、回りましょうか？

班長はだれ！記録はだれがします？

グループ編成：全部で５班に分かれての**探検隊活動**です！

A 班：車椅子利用者　（９名）
　　車椅子当事者（自走）と共に、街歩きを行い、自分自身も疑似体験をしながら、検証を行う。

B 班：車椅子利用者と介護者　（９名）
　　車椅子当事者とその介護者の方と共に、街歩き及疑似体験をしながら検証を行う。

C 班：子育て（ベビーカー）（９名）
　　子育て（ベビーカー）の方と共に街歩き、当事者の気持ちを探りながら検証を行う

D 班：車いす疑似体験（留学生の方と疑似体験）（９名）
　　車椅子当事者（自走一部介助）の方と一緒に街歩きを行い、自分自身も疑似体験をしながら検証を行う。
　　留学生（外国人）の目線で検証もおこなう。

E 班：車いす疑似体験（大学生の方と疑似体験）（９名）
　　普段と違った視点で、自分自身も疑似体験をしながら検証を行う。
　　大学生、若者の視点で検証も行う。

班別ごとに、班長・記録者・発表者を決め、いざ街歩き検証出発！
　各班の補助スタッフは、水先案内人として的確にアドバイスを行いながら楽しい街歩き検証の雰囲気づくりを心がけ、あくまでも参加している皆さんが、主役として演じられるよう黒子になります。

鏡山酒造跡地明治館の観光案内所で川越のまちをまず調べてから出発です！

さてここからは私が水先案内人として務めさせて頂いた D 班の探検活動を報告いたします。

さー出発です班長！どこに向かいます？コースがなかなか決まりません。

都市景観重要建築物　川越市が指定した建物には、このようなものが・・・・

さて、重要建築物とバリアフリー・ユニバーサルデザインは融合するのでしょうか？

楽しみな街歩きが始まりました！

大正浪漫夢通りに入った途端また迷い？ここはどこ？
蔵造り通りはどこをいけばよいのかな・・・・・

あそこに何かあるよ！
ありがたい、、お店の店先に手作りの案内表示版がありました！
現在の位置をやっと確認して再出発！

決められたコースはつまらないね！蔵造通りにいくまでちょっと寄り道でもしますか？大通りの危険な道を逃げ出し、わき道、寄り道、散歩道！
雰囲気の良い素敵な参道を見つけました！

この参道は危なくないし、すれ違いＯＫ！快適空間を一つ見つけました！

参道脇駐車スペースに公衆トイレ発見！
早速点検！しかしながら残念。。。。車椅子は入れません！
せっかく雰囲気の良い空間、誰でも使えるトイレがあれば最高だね！

雰囲気のあるお店、でもスロープの勾配きつく、石を埋め込みガタガタ！車椅子では入れませんウーン勿体無い！

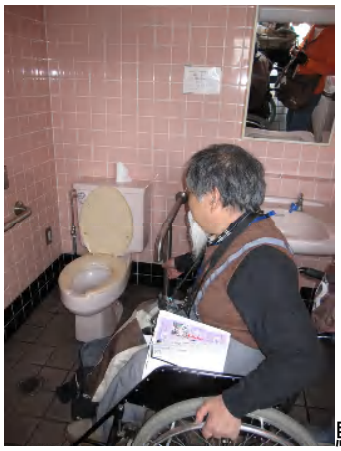
ハーイ！ご試食どうぞ！

帰りにまた寄ってくださいね！　　店員さんの優しい声掛けに感動！

蔵造り通りに入って、駐車場のところにやってくると、やっと公共案内標識版がありました！しかし車椅子からだとちょっと高くて見にくいですね。

もう少し低く設置してあればよいのに？

点字の表示配慮があればさらに良いのでは！



駐車場奥に身障者トイレ発見

便器、手摺、鏡のチェックを行いました！うーん古いタイプのトイレですね！

川越市蔵造り資料館の見学です。

正面入口には高い敷居があり車椅子は入れないと思いましたが、受付人が大変親切で脇の格子戸をあけてもらい中に入ることができました！
ちょっと残念だったのが、身障者トイレのマークはありましたが、段差及び狭くて車椅子では使えないトイレでした。

車椅子が使用できないトイレなら、表示は早急に外したほうが良いですね。
これは表示（サイン等）の問題ですから改善はやろうと思えばすぐできますね。

もしギリギリトイレを我慢して、狭い道を通って、やっとトイレに到着したら使えないとわかったら・・・残酷です！！
使えるトイレに造りかえるのは費用等がかかり大変でしょうが、何とかして頂かないといけませんね。

あーおなかが減って来た！

混む前に早めに食事をとりましょう！場所を決めなくてはいけませんね・・・

お店の人から聞き取りをしながら良いとこ探しの探検隊活動！

やっと、お食事です！

とても親切に対応して頂きました！お任せランチ最高です。人気店みたいで入店後には、外に多くのお客さんが並んでいます。早めに入店して大正解！

食事の後は、最初に寄り道をしてしまい、探検活動できなかった、大正浪漫夢通りを検証しながら帰ります。

さて、飲み物で喉を潤そうとしますと、ベンダーの前に椅子が？
これでは、車椅子では近寄れませんね！
ここの前に、勝手に出店を出す人がいるみたいですね、それをやめさせるために、長いすを置いたみたいですね、しかしながら問題は解決したのでしょうか？
反対に、利用しにくくなってしまっている状態を鑑み、多いに矛盾を感じます。

お店の中を覗きながら、散策します。
この蕎麦屋さんも雰囲気が良いね！介助すれば、車椅子でも入れそうですね！

お買い物でもいたしましょうか？
大変良い雰囲気のお店です！

スロープが木でできており、外部は、大正時代の建物の面影をそのまま残しつつ、内部を現代的におしゃれに改装してあります。
引戸の奥は、お菓子の加工場になっているようです。
他の班の方々も集ってきました！　的井ＵＤ委員長達もやってきました！

みんなで熊神社に、参拝いたします。
出入り口参道の両脇には、健康石踏みがあります。（アイタタタ・・・）
境内の隅には、投げ輪をしながら運を占うコーナーがありました。

みんな真剣に遊んでおります？・・・・やった健康運ゲット！
さて､遊びも済んだし、もうそろそろ時間です。
ワークショップ会場に急いで戻らなければなりません、しかし我らＤ班はまたもや寄り道し、さらにもうひとつ、居心地の良い空間を見つけました！

そこは松江町交差点の一角地にありました。屋根付休憩所と多目的ﾄｲﾚ及び案内掲示板がある居心地の良い空間です。ここの掲示板は、車椅子からでもＯＫ！

さー急げ！予定時間は過ぎていますよ！
車の通りが激しい表通りから裏通りに抜けて、近道？回り道？・・・すると！

こんな処にレトロな看板？雰囲気は良いです！

でもどこに映画館があるのだろう？・・なぜこんな裏通りにポツンとあるの？
すると立派な大木が見えてきました！　　鳥居の両脇に立ち並んでおります。
これが有名な出世稲荷みたいですね、しかしながら車椅子では段差があり入れません。仕方なく出世稲荷に一礼して、皆さん出世を祈ります。

さて出世街道まっしぐら！いや、ワークショップ会場にまっしぐらです！

皆さん、記録はとってありますか？　　準備はＯＫ？

まち歩きが終ったら、鏡山酒造跡地の大正館イベントホールでワークショップ型式で皆さんの気付きをまとめて発表してもらいます。急いでくださ～い！

川越のＵＤまちなみ探検活動から帰ってきた皆様のワークショップがはじまります。イベント統括責任者の佐藤探検隊隊長よりワークショップの進め方をについて、簡単な説明があります。

『まず、どこをどのように探検隊活動（観光ＵＤ検証）をしてきたかがわかるような、道すじと街並み及び建物の位置を地図に記入し、マップを作成してください。

撮影してきた写真を数点選んで頂き、その写真をもとに、今回まちなみ検証したことにより、気づいた点や良い処及び改善が望まれる事柄などを探し出し、付箋及び模造紙等を利用しながら、皆さんの意見をワークショップ型式でまとめ上げ、発表して頂きます！』

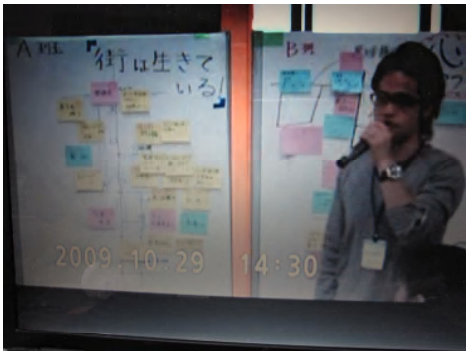
皆さん！　限られた時間ですが、頑張ってください！

付箋を整理し時間内に､皆さんの意見をまとめ上げなければなりません。
ワークショップのまとめ方は色々ありますが､各班班長にすべてお任せ！
各班独自のまとめ方にとお願いしております。　制限時間は７５分
各班の水先案内人（補助スタッフ）の助言のもと、自由にまとめていきます。

自由に討論し、まとめ方も自由に、短い時間内にまとめ上げなければなりません、しかしながら、短い時間ですから、すべてはまとめきれません、後は発表者に任せることとなります。

７５分間は、あっという間に過ぎ去り、さープレゼン発表の時間です。
各々の班が、独自な視点で気づきをまとめ、持ち時間１０分で発表致します。

まず、A班からです。車椅子の視点にたってのまち歩き検証です。



『街は生きている』

次にＢ班（車椅子介助者班）の『心のバリアフリー』です。

車椅子当事者と介助者の方と共に、疑似体験しながらのまち歩き検証です。

次は、Ｃ班（子育てベビーカー班）の発表です。

『イモとアイスの融合』

車椅子と子育ての目線にたっての検証活動でした！

そしてＤ班（車椅子疑似体験班）です。
班員に、車椅子当事者（一部介助必要）の方と東洋大学大学院生（留学生）の方がおりましたので、様々な意見が出ました！

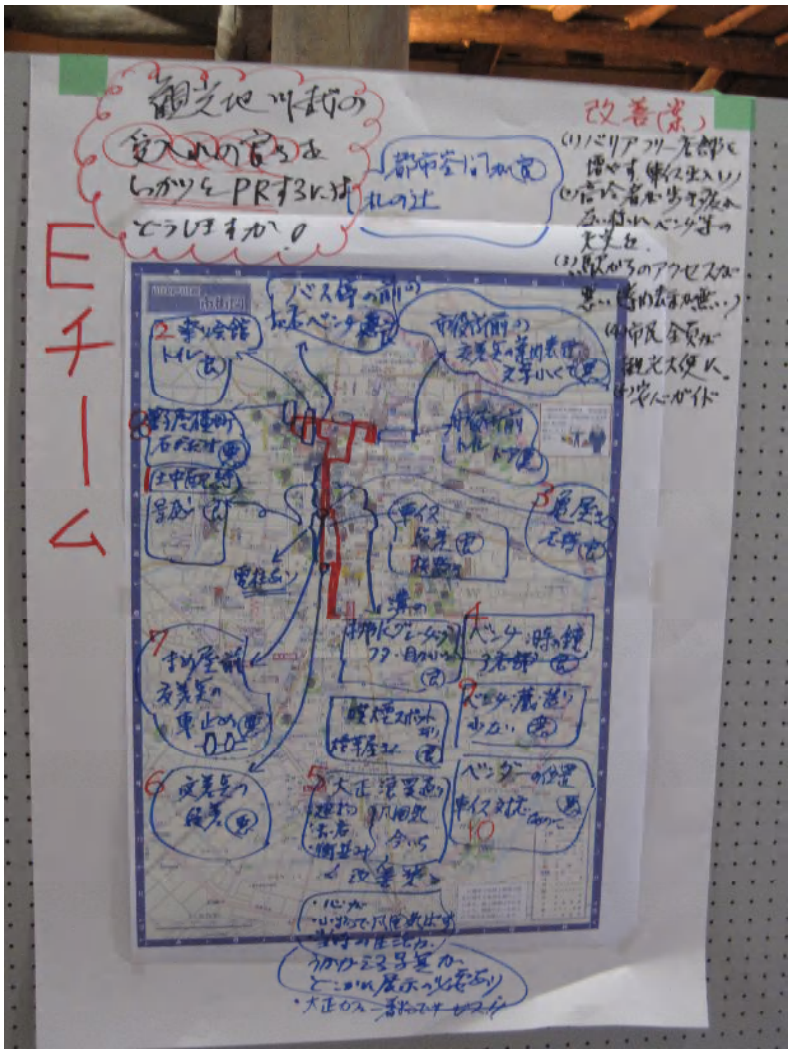
『きれいな蔵づくりバリアフリー化にもう一歩！　勿体無いね！』

居心地の良い処見つけた！

『決められたコースをはずれて、寄り道、わき道、まわり道！』

模造紙にお菓子を貼り付けるなど、独創的な発表でした！

最後にＥ班（車椅子疑似体験班）です。
班内に東洋大学の学生がおり、学生が班長で頑張ってまとめておりました！
『観光地川越の受け入れ良さをしっかりＰＲするにはどうしますか！』



地図内に意見記入し、まとめ、改善案まで良くまとまっておりました。

各班とも制限時間内（１０分）で素晴ししい発表していただきました。

ここで、一緒にまち歩き検証を行った当事者の方々の意見をバリアフリー協会の栗林氏が皆さんのお話を引き出す形で、意見交換を行いました。（３０分）

栗林氏（車いす当事者の視点の気づき）

入店をあきらめざるを得ない・・周囲の声かけが笑顔で楽しい外出をサポート・・

車椅子当事者の内藤氏とお母様

観光旅行に出かけるときの準備と心がけ等について、介助者の立場として・・・

車椅子当事者から・・杉山氏

トイレの問題、段差の問題及び駐車場や施設設備等の問題！

池田さんから子育てママの気持ちを、車椅子当事者の気持ちを

埼玉県障害者協議会:山根さんより

参加者の皆さんは、普段、当事者の方々の意見をなかなか聞けないので、真剣に耳をかたむけます。。。

人の優しさ思いやりにふれ、また訪れたくなる、そんな観光まち川越でしたとの山根さんのことばを聞き、何か嬉しくなったのはなぜでしょう？

以上、活発な意見交換ができたワークショップは終了いたしました！

東洋大学・高橋儀平教授より、全体総括の講評と感想をいただきました。
また朝から皆さんと一緒にまち歩き探検をした感想等も一緒に述べてもらいました。

各班発表内容の総括と当事者の方々の気づきとして、（高橋儀平教授総括）

①スロープがあっても案内表示がない、出入口がどこにあるかアクセス等の諸問題は表示をうまく考えれば解決できること、歩道が狭く危険なところは、歩車道分離や一方通行を考慮していけば解決できるのではないか？
②行き止まりのトイレ、使えないのに障害者マークがある等案内表示の問題はすぐに直せばできることであり、長期的には商店会の皆さんが協力して、共同トイレ設置数をふやし、トイレマップの整備を行うことの重要性・・
③石畳の問題を取り上げていたが、視点を変えて、歩くのではなく他の移動手段を考えるのも一つの手である。観光を生かし、小型バス等の利用の可能性！
④案内表示等サインの問題があり、目立たなくわからないヶ所が多いとの指摘はもっともであり、川越蔵つくり通りとして統一したものを作る必要あり、サイン等のレイアウトを考え、提案するコンペ等をやってもおもしろい！
⑤交差点の危険な車止め、そこを通らなくても良いアクセスをまち全体で考える・・
⑥マップ等のサインだが、少し高さを下げる、それだけでも見やすくなること、ちょっとした工夫でよくなる。
⑦使えない自動販売機、ユニバーサルデザインを重視した自販機に変えてもらえば解決することも多い！
⑧雰囲気も良く優れた工夫アイデアとして取り上げられた店の前の木製スロープ！
段差があっても、その場ですぐ段差を解消できるものがあれば、常時のものでなくても店前に立てかけてあれば使えるものですね！
⑨バリアーがあっても、魅力のあるまちはまたきたくなる。それは段差があっても担ぎあげてもらってもすべてOKであり、バリアーが消える？
⑩ゴミ箱の問題は、お金をあまりかけずにできることであり、デザインコンペなど行い、景観に優れた統一したゴミ箱をつくる必要あり！
⑪駐車場の問題、健常者が障害者用スペースに車を止めてしまうマナーの問題、まち全体で国際シンボルマークの徹底と駐車スペースを整理し増やす重要性！
⑫子育て世代の為に、蔵造り通りのなかに、オムツ交換室及び授乳室設置の必要性！
⑬ちょっとした休める処が必要、ベンチ利用をもっと考えればさらにより良くなる可能性を秘めている。
⑭人によって、障害の度合いによって使い勝手は違うこと、古い基準でつくったトイレ等施設では、使いにくい場合が多く改良の余地があること
⑮人と人との絆を深め、人と触れ合う楽しみがある処が、魅力のあるまちとなりうること！

ユニバーサルデザインとは能力エコーなのだそうです、その意味は？
高橋先生曰く『手伝ってもらわなくても、使用する、行う能力が少なくても良い、簡単にできるように、改めて介助（サポート）しなくても大丈夫な施設設備づくりをめざすことである。』

人はどんなところに集るのでしょうか？

あなたの好きなところは？

景観に優れた観光のまち川越で、バリアフリーとユニバーサル・デザインがどのように融合していくのかをテーマに皆さんに探検隊活動をして頂いたことにより、見出した色々な気付きと意見の集約できました！
水先案内人の私を含め、参加された殆どの皆様が、観光のまち川越にまた訪れたい、魅力のある街だと感じたと思います。

最後に、各班に同行して頂いた当事者の方々から、**『わがまち川越！観光 UD』**の**探検隊活動**を通しての感想を一言づづいただきました！
まだまだ皆さんと意見交換の時間を取りたかったのですが、会場を片付ける時間もあり、予定の終了時間とあいなり、最後に彩の国 人にやさしい建物づくり協議会・イベント部会の事務局を代表して内藤 知行氏の閉会の挨拶を持ってとどこおりなく終了いたしました。

なぜか毎日行ってしまうあのまちとお店、なんとなく雰囲気が良く、誰もが利用しやすい空間には、さりげないつくり手の気遣いが表れ、さりげない工夫が見られます。
私たちは、そんな居心地の良い場所を探りながら、街づくりのお手伝いをする活動として、**【居心地の良い場所を探せ！プロジェクト】**を、昨年に引続き企画実行しました。
　今回**『わがまち川越！観光 UD』の探検隊活動**を実施し、その活動を通して感じたことですが、たとえ、**物理的バリアー**があっても、**心のバリアー**が優れていれば解決できることがたくさんあるということです。
また、健常者の方が**サポート経験**をつむ事により、また**サポート**を行いやすい**環境づくり**を行えば、自然と解決していくことがたくさんあることに気づきました。
一緒に歩き、共に行動しながら、考え、良いとこを探す探検隊活動は、遠回りのようで、これらの諸問題解決の**近道**であると確信いたしました！
　そして、大きな改善でなくても、ちょっとした気づきにはじまる工夫が一番大切なことであると、**『わがまち川越！観光 UD』の探検隊活動**で学びました！
景観とバリアフリーこの融合が難しいと思われたことが、ユニバーサル・デザインの視点にたった気付きができれば融合できるということ、蔵造り通りをはじめ、観光のまち川越がさらに魅力のある街そして、また訪れたい街になっていくだろうと思いを強くしました。

　この水先案内人の活動報告と共に参加した方々それぞれの感想を、川越市行政及び川越市商店会（蔵造り通り商店会）のほうに報告書としてまとめ提示し、少しでもより良い街づくり、お店づくりに役立てて頂ければ幸いと願います。

『わがまち川越！観光ユニバーサルデザイン』

水先案内人の活動報告

（社）建築士事務所協会川口支部　まちづくり委員長
（有）高廣建設一級建築士事務所雄設計工房
管理建築士　一級建築士　高　杉　雄　一